

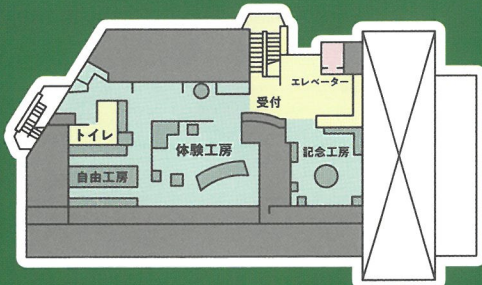
◆貸館使用料(税込価格)

	部屋名	使用料(円/時間)	定員/広さ
1階	ミーティングルーム	150円	10名/23㎡
	ホール	1,000円	132名/186㎡
2階	カルチャールーム	600円	72名/137㎡
	創作室	150円	18名/36㎡
	和室	400円	20名/17.5畳

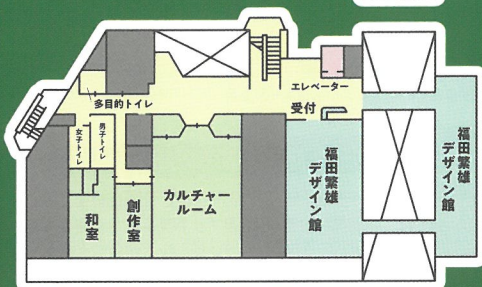
※付属設備を使用する場合は別途使用料がかかります。
 ※料金を徴収する催事等の場合は一定割合が加算されます。
 ※ご利用の際は事前に申請書をご提出ください。



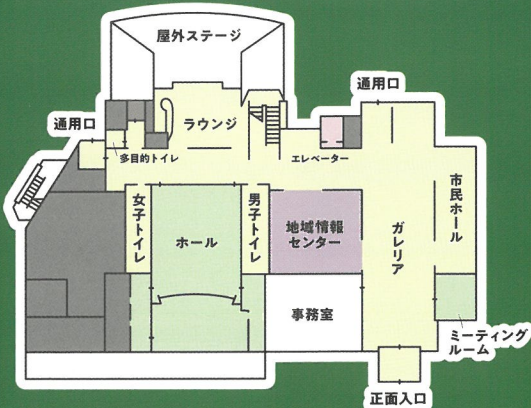
3階館内図



2階館内図



1階館内図



ご利用案内

◆開館時間

9:00 ~ 21:00
 デザイン館、科学館は17:00まで(入館は16:30まで)

◆休館日

毎月第4月曜日、祝日の翌日、年末年始(12/29 ~ 1/3)
 デザイン館、科学館は毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

◆入館料(税込価格)

区分	個人	団体(20名以上)
福田繁雄デザイン館	一般・高校生 200円 小・中学生 100円	一般・高校生 160円 小・中学生 80円
田中館愛橋記念科学館	一般・高校生 200円 小・中学生 100円	一般・高校生 160円 小・中学生 80円
共通入館券	一般・高校生 360円 小・中学生 180円	※共通入館券に団体割引は ございません。

※特別展・企画展を開催するときは入館料を変更する場合があります。
 ※科学館での実験工作材料費は実費負担となります。
 ※障がい者手帳をお持ちの方は、ご本人と介助者1名が入館料無料となります。
 詳しくは受付にお問い合わせください。
 ※駐車場は両隣の二戸合同庁舎、岩手県二戸地区合同庁舎の駐車場、または
 向かいの二戸市総合スポーツセンターの駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 6-2
 TEL: 0195-25-5411 / FAX: 0195-23-3548
 HP: <https://www.nbsk.or.jp/civic/>
 E-mail: civic@nbsk.or.jp

アクセス方法 /



二戸市 シビックセンター Ninohe City Civic Center



2階 福田繁雄デザイン館
3階 田中館愛橋記念科学館

二戸市シビックセンター



建物外観

二戸地域における歴史文化等の情報発信の中心的役割を担う地域交流施設です。福田繁雄デザイン館田中館愛橋記念科学館の他、ホールやカルチャールームなどの貸館や、自由に見学ができる地域情報センターがあります。

二戸市シビックセンター
ホームページ



建物に入ってすぐのギャラリーには開放的な吹き抜けスペースに福田繁雄の作品である「世界からの微笑」を展示しています。



地域情報センターでは、二戸市内の名所や伝統文化、発掘された化石など「二戸の宝」を紹介しています。



市民ホールでは、地域の皆さんの作品等が展示できます。

館内にもアート作品を
展示しています



「ローマ字の宇宙」

「陶磁器の椅子」



「ランチはヘルメットをかぶって…」



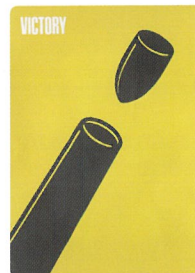
福田繁雄デザイン館



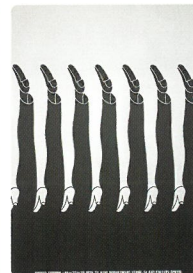
常設展の様子

2階の福田繁雄デザイン館では、日本を代表するグラフィックデザイナーである福田繁雄の作品を展示しています。代表的な作品を中心とした常設展とテーマを変えて展示する企画展により、福田繁雄の想像力や発想の素晴らしさを感じる事ができます。

福田繁雄デザイン館
ホームページ



VICTORY
(1975)



SHIGEOfUKUDA 展ポスター
(1975)



コーヒータンク
(1973)



福田 繁雄 (1932 ~ 2009)

東京出身。1944年に母方の故郷である二戸市に疎開。単純化された形態とトリックアートを融合させたシニカルなデザインが特徴で、「日本のエッシャー」とも称される。日本グラフィックデザイナー協会の会長も務め、紫綬褒章や旭日小綬章を受章。

福田繁雄の代表作の数々を
ぜひご覧ください



田中館愛橋記念科学館

たなかだてあいきつ



科学実験体験工房

3階の田中館愛橋記念科学館では、世界的物理学者である田中館愛橋博士の業績について展示しています。体験工房ではサイエンスショー、オーロラ発生装置や真空実験装置の実演、自由工房では工作体験を通じて科学に触れることができます。

田中館愛橋記念科学館
ホームページ



大人も子供も楽しめるサイエンスショーを上演



予約をしなくても工作ができます



田中 館 愛 橋 (1856 ~ 1952)

二戸郡福岡村(現二戸市福岡)出身。物理学者として東京帝国大学理科大学教授を務め、国際会議へ多数出席した。航空工学を国内に持ち込み、飛行機製作技術の発達に寄与した他、重力測定の基礎を築き、地磁気と地震の相関を研究。日本語ローマ字の普及を目指すなど国内の技術向上に貢献した。1944年文化勲章を受章。

いろいろな科学工作を
体験できます！

